令和２年２月１日
第71号

令和元年11月定例会の
内容をお知らせします。

かけがわ議会だより

おもな内容

P2 シリーズ「議会のとびら」第２回
P3 補正予算の概要
P4 一般質問
P8 年間テーマを定め活発な議論
P12 議会報告会
P14 審議結果一覧
P15 未来日誌／視察受け入れ実績／傍聴席／表紙の説明
P16 アンケート

シリーズ

議会のとびら 2

市議会をより身近に感じていただくために、市議会や市政の情報をタイムリーに紹介し、市議会とみなさんをつなぐコーナーです。

今回は、議員研修会について

議員研修会

掛川市議会では議員の政策立案や政策提言に関する能力の向上を図り、市政の課題を広い視点から捉えるため、全議員で、議員研修会を行っています。今回は、本年度行った主な研修内容を紹介します。

ハローワーク掛川からの情報提供 5/20

現在の掛川市の求人状況等を学びました。これからの労働環境の整備に活かしていきます。

ハローワーク掛川

東京研修を実施 7/25・26

東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」を視察

掛川市議会では、議員全員で最新の情報、知識を得るため、研修を行っています。本年度は、東京で行いました。講義や現地調査を活かして、これからの市政に繋げていきます。

東濃地科学センター（岐阜県瑞浪（みずなみ）市）を視察 11/7

高レベル放射性廃棄物を地層に安全に処分するための研究や技術の開発を行う施設を視察しました。浜岡原発について考える参考としていきます。

瑞浪超深地層研究所を視察（地下300m）

令和元年度一般会計補正予算（第３号）の概要

補　正　額　**8億1,583万円**

補正後の予算額　**497億　220万円**

災害復旧

台風19号による災害復旧費 追加 1億2,559万円

台風19号で被害のあった84施設(農業施設13、林業施設6、土木施設60、その他5)の施設修理

豪雨による土木施設公共災害復旧工事費 増 6,787万円

(7,110万円→1億3,897万円)

7月の豪雨で被害を受けた市道の路肩や河川の護岸を復旧

防　災

海岸防災林強化事業費 増 3億5,600万円

(4億1,200万円→7億6,800万円)

盛り土材として受入を見込んでいた公共残土の受入量が減少したため、減少分について土砂運搬料を支払い、事業の進捗を図る

ため池修理費 増 450万円

(550万円→1,000万円)

居沼池、丸池、瓦ヶ谷池、東沢下池、村池、渡辺池、初沢池の7池で取水施設や堤体に不具合が発生したため

待機児童解消対策

保育士等就職応援資金 増 400万円

(400万円→800万円)

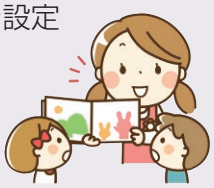
申請件数が増加したため

すずかけっこ保育園改修経費 追加 385万円

1、2歳児の定員枠を広げる

〈その他〉

令和３年４月開園を目指す認可保育園園舎等リース料（限度額３億8,264万円）、ちはまこども園整備事業費補助金（限度額６億3,918万円）などに債務負担行為※を設定



※債務負担行為：将来の支出をあらかじめ約束する行為

その他の補正予算

一般職員人件費 増 …… 4,200万円（55億4,161万円→55億8,361万円）

人事院勧告を受け、給料表の30歳台半ばまでの職員が在職する号給の改訂を行い平均1,330円程度の引き上げを行うほか、勤勉手当の支給月数を0.05月分引き上げ、４月に遡って支給等

交通安全施設整備事業費 増 …… 2,720万円（3,553万円→6,273万円）

通学路や園児移動経路の安全確保のための工事

掛川市・菊川市衛生施設組合負担金費 増 ‥ 6,414万円（5億4,793万円→6億1,207万円）

資源物売払収入の減少および燃料費、施設補修費などの増加

地域協働環境整備費 増 …… 7,500万円（3億2,358万円→3億9,858万円）

市内の危険箇所や、地区からの要望に対応するための施設補修費等

創世会
山本裕三

民間事業者との連携強化による更なる防災力向上施策を

Q 災害時の対応策として、地域のホテル・旅館との利用協定や、スーパー・ホームセンター等集客施設でのハザードマップ配布、防災に関しての情報発信など民間事業者とのさらなる連携強化が必要と考えるが見解を伺う。

A 県と市それぞれで旅館組合と災害時における施設利用の協定に向けた協議を進めています。また、スーパーやホームセンターなどと物資供給等のパートナーシップ協定の締結を進めています。特にホームセンターでは、平常時から防災用品を集めた防災コーナーを設け、防災ガイドブックも配布していただいています。今後もさらに協力事業所を増やし、日頃から生活の中で防災を意識できる環境づくりに努めていきます。

防災を意識できる環境づくりに努めていく

地域の特色を活かした更なる防災意識向上施策を

Q 自然災害をより「我がこと」と思っていただけるように、地域のみなさんと協働で制作を行う地域別の防災啓発ポスターが必要と考えるが見解を伺う。

A 地区防災計画の策定や見直しを進める中で、要望があれば公会堂等に掲示できる地域のオリジナル啓発ポスターを、地域と協働で作成するよう努めていきます。

要望があれば地域と協働で作成する

豪雨災害による倒木

【その他の質問事項】

・保険者機能強化推進交付金に関して

日本共産党
勝川志保子

メガ風力発電施設は環境保全に留意して導入検討を

Q 八高山周辺に建設予定の風力発電施設（仮称ウインドパーク遠州東部風力発電事業）が環境アセスメントにかけられている。保安林・水源かんよう林・鳥獣保護区である場所への建設は環境保全や防災の立場から、十分な市民合意形成と検討を。

風力発電施設計画のある掛川市北部八高山周辺（市役所からのぞむ）

A 地球温暖化防止や温室効果ガス排出抑制の観点から再生可能エネルギーは普及させていく必要があり、掛川市としても適切な導入を進めていきます。

現段階では、具体的な計画内容が示されていないので今後の事業者の動向を注視して、基礎自治体として適宜、必要な措置を講じていきます。

事業者と協議しながら、適切な措置を講じていく

安心して年が重ねられる介護保険制度に

Q 介護を自己責任にせず、行政が責任を持った運用をする事が重要。介護度の低い段階での適切な介護認定やケアマネジメントによって重症化も防ぐ事ができるのではないか。

A 適切な時期のサービス提供が重度化防止に有用であると考えています。地域包括支援センターやケアマネジャー、市職員、リハビリステーション職員が、適切な時期に要介護認定申請の案内や介護保険サービスの導入などの検討を行っています。

適切な時期のサービス提供が重度化防止に有用である

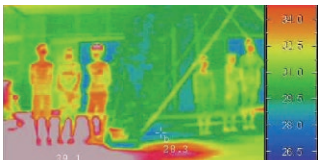
アクティブマネジメント・公明クラブ
松浦 昌巳

家庭で出来る温暖化対策推進策を

Q 市民が出来る温暖化対策として、緑のエコカーテンがあるが、掛川市が積極的に推進するべきではないか伺う。

民間主導で進めながら市も支援していく

A この事業は現在、民間主導で進められています。今後も民間の力でやっていく中で、協働のまちづくりとして市も支援を考えています。



アサガオカーテン温度比較

温暖化対策推進への覚悟を示すために掛川城のライトダウンを

Q 掛川市地球温暖化対策実行計画の改定により、温室効果ガスの削減目標が示された。この目標を達成するためには、相当の努力と覚悟が必要である。掛川市の強い覚悟を表すために掛川城のライトダウンが出来ないか伺う。

ライトダウンは考えていない

A 掛川城は、夜間のライトアップで、より一層掛川市のシンボルとしての存在感を示すとともに、東海道新幹線の車窓からも見えるため、観光振興やシティプロモーションなどに大きなＰＲ効果がありますので、今のところ廃止は考えておりませんが、ＬＥＤ化を検討するなど、省エネルギーによる温暖化対策に取り組んでいきます。

共に創る掛川
富田まゆみ

災害時、より適切な対応を行うためのマニュアル作成を

Q 災害対策本部の各班ごとのマニュアル一つひとつが現実に即したものとなっているか、検証・更新するとともに、災害の種類・規模に合わせ全体が見通せる形の時系列マニュアル作成が有効と考えるがいかがか。

横断的に見られるような様式を考えていく

A 本年度の防災訓練では、本部活動マニュアルに沿って、各班が訓練計画を立て、実動訓練を実施することで、マニュアルの検証を行いました。今後はその活動マニュアルを横断的に見られるような様式を考えていきます。

子どもたちの防災対応力を高める支援や指導を

Q 地震・津波・水害・火災など災害の種類により対応が異なる避難について、周りの状況を瞬時に判断し行動できるよう指導する事が大切と考えるがいかがか。

訓練を通じて身につけていく

A 各学校で防災に対する課題を出して、防災対応能力を身につける訓練方法を検討し、訓練を通じて身につけていけるような取り組みを考えていきます。

千浜小学校　下校時津波避難訓練

志誠会
草賀章吉

砂防堰堤（さぼうえんてい）設置が必要

Q 山間部の河川・沢の河床低下が進み、道路や森林の崩落が懸念される。事前に堰堤を設置することが必要。砂防堰堤工事の実態と見解を伺う。

県に要望をしていく

A 堰堤を設置する事業には、砂防事業と治山事業があり、市内では砂防事業は42基、治山事業は、800基設置しています。未だ堰堤等の対策が必要な箇所が残されているので、引き続き地元と調整を図り、事業の推進について県に要望していきます。

河床低下による崩落

原野谷学園新たな学園づくり地域検討委員会の答申を受けて

Q 3月13日の地域検討委員会の答申から、すでに8ヶ月以上が経過した。どのような視点で検討がされているのか。大きなスケジュールについて伺う。

委員会を設置して、検討していく

A 教育の視点のみならず、まちづくりや防災、公共施設の再配置などの多面的な視点から研究を進めています。この研究成果を基に、来年度から外部有識者、学校関係者や市民を委員とした委員会を設けて、学区の再編成や学校施設の整備方針、スケジュールについて検討していきます。掛川型小中一貫校のモデル校としていち早く設置できるように努めていきます。

【その他の質問事項】

- 縁結びプロジェクトの推進状況について

アクティブマネジメント・公明クラブ
窪野愛子

犯罪被害者等支援制度や条例制定を

Q 静岡県犯罪被害者等支援条例が平成27年に制定され、県内でも条例を制定した市町や検討中の市もある。今後、安全安心なまちづくりを目指すために、犯罪被害者等支援制度や条例制定に向けた検討についての見解は。

本年度開催された犯罪被害者等支援講演会のチラシ

どのような政策が考えられるか検討していく

A 誰もが安全で安心して暮らせるまちにすることが最も重要であると考えています。犯罪の撲滅から被害者への支援まで、どのような政策が考えられるのか、検討していきます。現在、掛川警察署と情報共有を進めるとともに条例制定に向けた勉強会を開催しています。

道の駅掛川等の防災整備への対応は

Q 改訂された掛川市地域防災計画・地震防災施設の整備方針の中に、防災上重要な建物の整備として、道の駅等のオープンスペースの整備を図ると明記されているが、今後の取り組みについて伺う。

国土交通省と協定を結び対応していただく

A 道の駅掛川については、国土交通省と、防災機能の提供範囲の明確化や、避難者に対する適切な機能提供を目的とした協定締結に向け、調整を行っています。国土交通省では、全国の道の駅に優先順位をつけながら、非常用電源や防災備蓄庫の設置、防災トイレの配備などを進めていく予定です。

共に創る掛川
鈴木久裕

民間による大規模風力発電所計画は

Q 掛川市と周辺にかけて国内最大級といわれる風力発電所が計画されているが、再生可能エネルギー導入と、影響を受ける絶滅危惧種の保護という両立が難しい課題について、市長はどのような考え方で臨むのか。

計画地付近に生息する絶滅危惧種のクマタカ

最善の方向性を求めていく

A 環境影響評価を進める中で、希少野生動植物にどのような影響があるのか見極める必要があります。希少野生動植物への配慮と、再生可能エネルギーの普及はいずれも重要な課題なので、環境影響評価において最善の方向性を求めていきます。

監査委員から示された決算審査意見への対応は

Q 審査意見にあった、課をまたいだ事業の効率的効果的な推進や重複した事業の統廃合について、いつまでに、どの程度まで、どのように図っていくのか。

効率的かつ効果的な運用を検討していく

A 事業目的を達成するためには、どのように運用していくことが、より効率的かつ効果的か、重複した事業の統廃合を含め、随時、検討していきます。

【その他の質問事項】

・会計年度任用職員制度の運用について

創世会
嶺岡慎悟

小中一貫校の整備検討は市長部局主導の取り組みを

Q 小中一貫校の整備は、地域の魅力づくり、まちづくりであり、教育のみの議論ではおさまらない。今後は教育委員会主導でなく、市長部局主導の取り組みが必要であると考えるがいかがか。

市長部局と連携しながら教育委員会主体で進める

A これからの子どもたちにとって望ましい教育環境を整備する「子どもファースト」の考えを最重視するべきなので、教育委員会が主体となって進めるべきだと考えています。学校再編だけでなく、公共施設の複合化を推進するために、市長部局と密接に連携して取り組んでいきます。

保育園の整備には十分な検証を

Q 令和3年開園の90人規模の保育園の整備計画について、開園を1年前倒しすることによって国の交付金が見込めず、市の負担する建設費が3億円以上増えるが、そのような判断をした理由を伺う。

一人でも多くの待機児童を解消する

A 財政的視点や公共施設マネジメントの観点に立てば、国の交付金を受け、民間主導で施設整備を行う方式も考えられますが、令和3年度以降、待機児童が発生する可能性があるため、計画的な保育施設の整備を行い、目の前の待機児童を一人でも多く解消させるべきであると判断しました。

【その他の質問事項】

・大型商業施設誘致について
・掛川茶エンナーレ2020について

創世会
小沼秀朗

東京オリンピック・パラリンピック応援策と振興策は

Q 東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて輝くかけがわ応援大使のみなさんのメダル獲得が期待されている。会場への応援方法をいかに考え、スポーツ振興策に繋げようとしているのか伺う。

山本篤選手 2016 年リオパラリンピック出場壮行会

より多くの市民がスポーツに接する機会を提供していく

A 出場選手の壮行会やパブリックビューイングを計画しています。この大会を契機に今後は障がいのある方を含め、より多くの市民がスポーツに接する機会を提供し、掛川市のスポーツ振興に一層取り組んでいきます。

生産年齢人口の転入増加に繋がる企業誘致策を伺う

Q 10年、20年後を見据えた掛川市の人口増加策に繋がる雇用を生み出す企業誘致をいかに考えるのか。また、掛川新エコポリス第3期工業団地については、菊川市と協議会を立ち上げ、広域な計画策定が必要ではないか。

IT化の補助や安心して働ける環境づくりを行う

A 新たな工業団地の造成と共に、生産施設のIT化の補助、女性等の労働参加を支援することで、安心して働ける環境作りを目指しています。これにより、地域で得られる一人当たりの所得が増え、さらに福利厚生が改善され、人を引きつける魅力を持った「選ばれるまち」となることを期待します。協議会については、菊川市長へ働きかけていきます。

【その他の質問事項】

・掛川市が誇る伝統工芸品「葛布」について

年間テーマを定め活発な議論

常任委員会ごとに1年間の研究テーマを定め、これまで調査研究を重ねてきました。また、議会報告会では調査内容を市民の皆さんにお示しし、意見交換を行いました。今回その内容に基づき、市当局と議論する場として、委員会協議会を開催いたしました。ここでは、議論された内容の要旨を掲載します。

本年度の共通テーマ

公共施設の在り方

掛川市が保有する公共施設等をすべて維持していくためには今後、毎年30億円予算が不足すると試算されており、今後の統合・再配置などにより不足額の解消が必要です。議会としても、公共施設のあり方については、避けて通れない市政の重要課題だと考えており、市当局からの提案に対して適正な判断ができるように、本年度のテーマとして定めました。

総務委員会

委員長　小沼秀朗

当委員会は、「本庁・支所からみる公共施設の今後のあり方」について大東支所をモデルに調査研究と協議を重ね、また、以下の広聴の機会によるご意見等を踏まえて当局と意見交換を行いました。

総務委員会広聴の機会

- ●大浜中学校区地区区長会会長と意見交換
- ●大浜中学校・西中学校・掛川西高等学校生徒とテレビ会議による意見交換
- ●議会報告会（質疑、アンケート等）

協議会の主な意見

- ●市内公共施設の今後の利活用を民間へプロポーザルにて募る方法も有効である。
- ●大須賀支所はフロアの一部を、ＪＡ遠州夢咲に貸し出している。大東支所も支所内施設や隣接する公共施設を集約し、民間へのフロア貸しを検討すると良い。
- ●民間活力を導入した複合施設とした場合、セキュリティ対策を万全にしていく必要がある。
- ●公共施設マネジメントは、統廃合の推進だけではなく、市のブランドメッセージ「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」の言葉の様に、統合の先の新たな魅力を示していく必要がある。
- ●大東支所展望台からの眺めが好評で、中高生からも有効活用を望む意見があった。インスタ映えスポットとしてのPRや展望アートの創設等、若者の発想を取り入れ検討すべきである。
- ●津波等の有事に備え、大東支所屋上に行ける外階段を設置すべきである。
- ●大東保健センターの児童館は充実しており、多くの市民に活用していただけるように、よりPRが必要である。子ども達や保護者の方が集えるカフェ、ランチ店舗の設置を検討すると良い。
- ●大東・大須賀区域は、医療機関が少ない。大東保健センター１階を今後、地域医療の核として医療充実に向けて取り組むべきである。

大東支所の活用方法について地元区長会会長と意見交換

放課後等デイサービスを視察（みなみかぜ・三俣区）

老人福祉センターを視察（山王荘・大坂区）

大浜中学校・西中学校・掛川西高等学校生徒とテレビ意見交換

まとめ　当局より「公共施設再配置において、民間活力を取り入れながら施設の有効活用等、参考にしていきたい」との回答があり、今後、政策提言に向け協議を重ねてまいります。

環境産業委員会

委員長　山本裕三

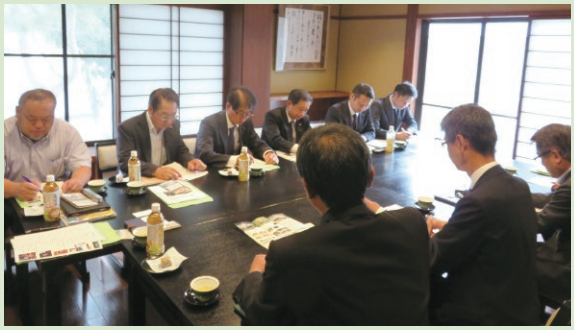
当委員会では年間テーマを「公共施設マネジメントにおける目的と成果の観点による施設のあり方検証について」とし、市内の公共温泉施設をモデル施設として調査研究を行いました。

調査研究を行うにあたり

当市には、「市民の健康増進」を目的とした「森の都ならここの湯」と、「大東温泉シートピア」の２つの公共温泉施設があります。しかし、維持管理費や老朽化による施設の修繕費などの財政負担が生じています。この財政負担を解消するためには、当初の目的だけでなく、観光、産業振興についても検討していく必要があるのではないかという考えから調査研究を始めました。

調査方法

現場主義に基づき、現地に赴き当市にある２つの温泉施設と比較しながら、様々な温泉施設運営者や自治体関係者との意見交換を重ね、検討を行いました。



官民の温泉施設の調査(川根温泉ふれあいの泉・島田市)

事業者との話し合い(テレビ会議)

温泉施設との相乗効果が期待される施設を調査
(三ツ星オートキャンプ場・川根本町)

民間に賃貸した温浴施設を視察
(オーパーク おごせ・埼玉県越生町)

まとめ

- 設置目的については、福祉の充実から、地域の方を大事にしながらも、施設に付加価値をつけ交流人口を増やす方向に変更する必要があること。
- 料金設定については受益者負担の観点から検討する必要があること。
- 民間企業の提案を幅広く伺い、民間投資をより誘発する条件整備を行う必要があること。

文教厚生委員会

委員長　窪野愛子

当委員会は、「幼稚園のあり方について」を年間の研究テーマと定め、定期的に協議を重ねてきました。市内幼稚園・保育園のこども園化に伴い、空き施設となる建物等の跡地利用について、議会報告会からの市民意見も踏まえて、当局と意見交換を行いました。

当局より、「旧睦浜幼稚園舎については、庁内と地元に対し活用の意向調査を行ったが、要望がなかったため、解体することになったことと、解体費については数千万円かかると予想され、建物を維持管理する場合は毎年 200 万円から 300 万円を要する。今後、こども園化に伴う空き施設は、地元への活用意向調査等を丁寧に行っていきたい。」という説明がありました。

議会報告会では、市民の皆さんからは有効活用を望む声、施設の耐震性を心配する声、さら地にして売却することを望む意見もありました。

お茶が飲めるカウンターや和室などがあるふれあい活動室を視察（三重県亀山市立川崎小学校）

災害時に飲料水として利用できるプール棟を視察（三重県亀山市立川崎小学校）

湖西市議会で教育施設の公共施設マネジメントについて視察

旧小学校施設をリノベーションした複合施設を視察（愛知県春日井市グルッポふじとう）

まとめ

～今後空き施設となる施設の利活用について～

- 市民に対して、市の方針を早めに伝え、維持費や解体費等も示し、理解を得ること。
- 地区が必要な施設として利用を考えた場合は、その運営については市も交え、地域住民が研究し維持管理費等も自立した形で賄えるように考えていくこと。
- さら地にして、売却も選択肢とすべきこと。

～「市民に、より開かれた議会」～

令和元年度 議会報告会開催

多くの皆さんのご参加、ご協力ありがとうございました。

市民の皆さんに、掛川市議会がどんな活動をしているのか、また、市の重要課題にどう対応しているのかを知っていただくとともに、ご意見を伺い、議会活動に活かすため、議会報告会を開催しました。542人（前年度比7人減）の方にご参加をいただき、多くのご意見をいただきました。

開催内容

❶議会報告

常任委員会の取り組みについて

総務委員会	大東支所をモデルとした公共施設の今後の有効活用
環境産業委員会	持続可能な温泉施設のあり方
文教厚生委員会	教育施設の未来に向けて

❷意見交換

議会報告会の様子

■会場と参加人数

開催日	地　域	会　場	参加人数
11月 4日（月）	原野谷中学校区	原谷地域生涯学習センター	26人
5日（火）	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター	94人
6日（水）	城東中学校区	大東北公民館	68人
11日（月）	北中学校区	西郷みらい館	48人
11日（月）	東中学校区	南郷地域生涯学習センター	57人
12日（火）	栄川中学校区	東山口小学校体育館	42人
13日（水）	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター	53人
14日（木）	西中学校区	市役所4階会議室1-A・B	106人
22日（金）	桜が丘中学校区	桜木ホール	48人
			合計542人

トピックス

今年度初めて、議会報告会に手話通訳者の派遣を大浜中学校区で行い、多くの方々にご参加いただきました。

皆さんからの主なご意見（アンケート・会場での質疑より）

総務委員会

- 大東支所のスペース（２階、３階部分）を、防災拠点（市民ニーズの最たるものではないか）として確立すべきと考えます。
- 南部地域の開業医は少なく、医師の高齢化が進み、後継者もいない診療所が多い。災害時も医者がいないと困りますが、普段の生活でも大変困ります。早く御前崎市のような、家庭医療センター等をつくってほしい。
- 大東支所の展望台のアピールをもっとする。一度行ってみたいと思わせる何かを考える。
- 若者から意見を聞く姿勢は良い。

環境産業委員会

- 大東温泉シートピアの施設管理に市の負担が多くあることがよくわかった。
- 大東温泉シートピアは、掛川市南部海浜エリアの観光交流の核となる施設となることを期待したい。
- 他地区施設との比較した内容でわかりやすかった。

文教厚生委員会

- 学童保育を希望する子どもが大変増えています。空き施設を、未来ある子どもたちのために活用していただきたい。
- 同じ掛川市でも、地域により人口増減があり、統合・閉鎖は仕方ない部分もあるが、高齢者も増えており、市は施設運営を地域に任せて、せっかくある公共施設は活用してほしい。
- 運営費や将来施設を解体する時の費用の問題がクリアできれば、地域住民の集いの場として利用可能になると思う。時間をかけて検討していく必要があるが、公共施設再配置計画もあるので、のんびりもしていられない。
- 空き施設はコストをかけずに活用する。または、更地にして売却も選択肢の一つ。かなり勇気のいる決断であるが、避けて通れない。モデルケースで実行してみる価値はある。

全体

- 会場は集まりやすさ、照明、音響等を考慮して決定してほしい。
- 現報告会は地区役員等の比較的高齢男性が参加しやすい時間帯の開催となっている。新たな参加者層を求めるには、開催方法の検討が必要。
- 大変よく研究しており、参考になった。
- 地元中学校区の話題をとりあげてほしい。
- 特定の人が何回も長く質問しているのは改善が必要。
- 夢のある話、前向きな話を聞きたい。
- 毎回、調査や中間報告が多く、インパクトを感じない。

11月定例会における審議結果一覧

■全会一致で可決・同意

予算

○令和元年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
職員の増員と本年度の人事院勧告に伴う職員人件費の増額

○令和元年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について
人事異動に伴う職員人件費の減額

○令和元年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
本年度の人事院勧告に伴う職員人件費の増額

○令和元年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算（第1号）について
実施設計委託、造成工事の実施期間を2年延長し、令和元年度から令和5年度に変更

○令和元年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
施設修理費の増額等

○令和元年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について
来年度からの企業会計運用に伴うシステム開発委託料の追加と償還利子額が確定したことによる公債費の減額

○令和元年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について
本年度の人事院勧告に伴う職員人件費の増額

○令和元年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第1号）について
人事異動に伴う職員人件費の減額と償還利子額が確定したことによる公債費の減額

○令和元年度佐束財産区特別会計補正予算（第1号）について
台風19号により、区有地の一部で土砂崩れが発生したため、復旧工事費を計上

条例

○掛川市簡易水道事業及び下水道事業の地方公営企業法の適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
簡易水道事業及び下水道事業について地方公営企業法を適用することに伴い、関係する15本の条例を改正

○掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について
本年度の人事院勧告を踏まえ、一般職員の給与を改定

○掛川市水道事業給水条例等の一部改正について
水道法や水道法施工令の改正に伴い、指定工事店の更新手数料を制定

○掛川市排水設備指定工事店条例の一部改正について
指定工事店の指定に伴う適合項目を改正

その他

○土地の取得について
大坂・土方工業用地、約10haを地権者80人から取得

○掛川市道路線の廃止について
大坂・土方工業用地・西工区の整備に伴い、工区内の3路線を廃止

○掛川市道路線の認定について
民間開発に伴う新設道路等の6路線を認定

○掛川市道路線の変更について
大坂・土方工業用地・西工区の整備や道路台帳の見直しに伴い、8路線の終点を変更

人事

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
人件擁護委員の推薦について同意

■賛否の分かれた議案（賛成多数可決）

○賛成　×反対

議案名＼議員名	創世会										AMK＊				共掛＊		至＊	志＊	共＊
	大石勇＊	寺田幸弘	藤原正光	榛村航一	嶺岡慎悟	山本裕三	松本均	小沼秀朗	二村禮一	鈴木正治	藤澤恭子	松浦昌巳	窪野愛子	山本行男	鈴木久裕	富田まゆみ	鷲山喜久	草賀章吉	勝川志保子
○令和元年度掛川市一般会計補正予算（第3号）について 3ページをご覧ください	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○令和元年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）について 原里配水池改修工事の工事発注が遅れたことに伴う工事請負費の減額や水道施設管理業務の委託範囲の拡大等	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○掛川市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部改正について	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について 本年度の人事院勧告を踏まえ、市議会議員や市長、副市長、教育長の期末手当の支給割合を改定	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○公の施設の指定管理者の指定について（掛川市生涯学習センター）	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○公の施設の指定管理者の指定について（掛川市美感ホール）	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
○公の施設の指定管理者の指定について（掛川市文化会館シオーネ） 3施設の指定管理者を令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間、「株式会社ＳＢＳプロモーション」に指定	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

＊議長（大石 勇）は、採決には参加しません
＊ＡＭＫ▶アクティブマネジメント・公明クラブ　共掛▶共に創る掛川　至▶至誠の会　志▶志誠会　共▶日本共産党

未来日誌

2月

7日（金）9:00　○全員協議会
19日（水）9:30　○本会議（施政方針、議案の提案説明）
20日（木）9:30　○本会議（議案の提案説明）
26日（水）9:30　○本会議（令和元年度関係議案質疑～委員会付託）
本会議終了後　○常任委員会（議案審査）

3月

5日（木）9:30　○本会議（令和元年度関係議案委員長報告～採決）
6日（金）9:00　○本会議（会派代表質問）
9日（月）9:00　○本会議（一般質問）
10日（火）9:00　○本会議（一般質問）
11日（水）9:00　○本会議（一般質問～令和2年度関係議案質疑～委員会付託）
本会議終了後　○常任委員会（議案審査）
12日（木）9:30　○常任委員会（議案審査）
23日（月）9:30　○本会議（令和2年度関係議案委員長報告～採決）

※1月8日現在の予定です。今後変更される可能性がございます。

議会行政視察受け入れ実績（人数）

10月10日（木）	●新潟県妙高市（7人） 協働によるまちづくり
10月16日（水）	●島根県江津市（10人） 地域健康医療支援センターふくしあ ●群馬県大泉町（8人） 子どもの貧困対策
10月23日（水）	●京都府八幡市（9人） 地域健康医療支援センターふくしあ
10月24日（木）	●埼玉県市議会第５区議長会（17人） 議会報告会・政策討論会
10月25日（金）	●群馬県前橋市（10人） 対話型人口知能による自治体問い合わせサービス IoTを活用した感震ブレーカー普及の取り組み
10月28日（月）	●静岡県伊豆の国市（8人） Pepperを活用したプログラミング教育 ●大阪府河内長野市（7人） 地域健康医療支援センターふくしあ
10月29日（火）	●福岡県うきは市（8人） 子ども子育て応援のまちづくり
10月30日（水）	●山口県山口市（13人） 議会改革と議会活性化
10月31日（木）	●大阪府豊中市（9人） 議会改革の推進・政策議会・政策討論会
11月 1日（金）	●長野県飯島町（7人） 協働によるまちづくり
11月 6日（水）	●千葉県浦安市（9人） 障がい者新規就労500人サポート事業
11月 7日（木）	●鳥取県日吉津村（6人） 防災の取り組み
11月 8日（金）	●愛知県春日井市（2人） 議会改革
11月12日（火）	●群馬県桐生市（8人） 議会改革の取り組み
11月14日（木）	●長野県上田市（11人） 政策討論会・議員提案条例
11月19日（火）	●北海道稚内市（8人） 議員間討論・議員提案による条例制定

傍聴席

「政治は汚いしダサい」僕はそう考えていたし、今回の傍聴は高校時代の同級生の出番があると聞き、呼ばれて参加しただけだった。

13時になり同級生の質問が始まる。的を射た質問と市長とのやり取り。揚げ足取りや忖度、馴れ合いは無い。

傍聴席を見渡すと、ざっと15人ほど。平均年齢は70歳前後だ。恐らくこの傍聴席は世間の政治に対する関心をそのまま表している。この場では子どもたちや未来のことを議論しているのに、肝心の若い世代はいない。汚い政治家はいるかもしれないけれど、そうじゃない人もいる。子どもたちのためにも、僕たちはもっと政治に関心を寄せる必要がある。

長濱裕作（三井区）

傍聴者数

11月20日（水）	2人
12月4日（水）	107人
12月5日（木）	59人
12月6日（金）	0人
12月20日（金）	2人

今号の表紙

背景は、大東図書館に所蔵されている、幕末に利用されていた葛布の袴地です。

題字は、静岡県立掛川東高等学校の1年生から3年生の書道選択者100名にご協力をいただき、3年・水野百捺（ももな）さんの作品を掲載しました。

水野百捺（ももな）さん
（掛川東高校・3年）

編集後記

今回も議会だより第71号を無事発行することが出来ました。

市民の皆様に議会の役割、各委員会の活動内容、一般質問、予算、決算等を知っていただき、議会を身近な存在と感じていただくために発行しています。

毎回発行前には、特別委員会を何度も開き、限られた紙面内で内容充実に努めています。表紙の刷新・議会のとびら・未来日誌等も委員会からの新たな提案です。ご覧ください。

広報広聴特別委員会
委員　寺田幸弘

※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。

掛川市議会アンケートにご協力ください

日ごろは市議会の活動にご理解をいただき、ありがとうございます。この度は、市議会について、皆さんからご意見をいただき、今後の議会活動に活かしていきたいと考えています。当てはまる項目に○をつけてください。ご協力お願いいたします。

○締め切り　令和2年3月10日(火)

○提出方法　◆FAX 0537-21-1171　◆こちらのQRコードから回答➡

◆市役所本庁1F総合案内、大東・大須賀支所1Fの回収箱に投函

◆掛川市議会ホームページから「意見公募」のアイコンをクリック

キリトリ線

Q1	性別を教えてください。	男性 ・ 女性
Q2	年齢を教えてください。	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90歳以上
Q3	お住まいの区域を教えてください。	掛川区域 ・ 大東区域 ・ 大須賀区域
Q4	市議会が市の予算・条例の可否を決め、仕事が適正に行われているかの審査・チェックや、政策提言をしていることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q5	掛川市議会には、3つの常任委員会があり活動していることを知っていますか？ 総務委員会(総合計画・行財政運営・市民安全、防災対策等)、環境産業委員会(土木建築・産業振興・環境等)、文教厚生委員会(健康・福祉・教育等)	はい ・ いいえ
Q6	本会議定例会が年4回(6月、9月、11月、2月)に開かれていることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q7	本会議や委員会を傍聴できることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q8	本会議の様子がインターネットで配信（同時配信と録画配信）されていることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q9	本会議開催時に託児や手話通訳があることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q10	市民の皆さんの声をより多く、より深く伺うために、市内9会場で議会報告会を行っていることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q11	議会報告会に参加したことがありますか？	はい ・ いいえ
Q12	市議会だよりを年4回発行して、議会の内容をお伝えしていることを知っていますか？	はい ・ いいえ
Q13	市議会だよりを読んでいますか？	毎回読む ・ 時々読む ・ 読まない
Q14	読まない方の理由は何ですか？	興味がない ・ ページ数が多い ・ 文字数が多い ・ 難しい その他（　　）

Q15 広報（議会のことをお知らせする）・広聴（市民の皆さんの声を聞く）機能を充実させるためのご意見をお書きください。

Q16 その他、市議会に対してのご意見をお書きください。

ご協力ありがとうございました。

令和2年2月1日
編集/発行 掛川市議会 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 ☎0537(21)1160 http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp